

心が和む交流活動

3月9日(水) 9:00~11:30

入学予定者を対象に「プレセミナーⅡ」を実施しました。今回は2回目でもあり、さらに新入生の不安を少しでもやわらぐようと「夢の実現に向けて」というテーマで、前半は3/1に門出した卒業生のお話を聞き、次に在校生である「先輩と語る」の時間を設けました。後半は挨拶ジャンケン、新聞タワー、間違い探しなど、コミュニケーションが必要な交流活動を行いました。



<卒業生からのことば>



<先輩と語る>

4月から就職や大学進学する3名の卒業生が、高校3年間の経験に基づいた困ったときや不安だったときのアドバイスをを行い、「先輩と語る」時間では、1、2年生が高校に入学してからの生活や進路を決めていく過程などについての経験談を話しました。

初めのうちは、ほとんどの新入生は緊張して固い表情でしたが、2回目ということもあり、すぐに笑顔が出てきました。

後半の国立立山青少年の家の指導員2人の指導による交流活動は、互いの協力が必要な活動であり、生徒同士の交流がさらに深まりました。

「入学が楽しみ」という声もあちこちで聞こえてきました。

<新入生の声>

- ・先輩方の対応（優しい、楽しい、面白い、よい雰囲気、情熱）。
- ・不安だったことの話が聞けて、入学が楽しみになった。
- ・ゲームで緊張がほぐれた。
- ・他校の中学生や先輩たちと仲良くなれた。
- ・最初は緊張したけれどみんな笑顔になったと思う。

<先輩の声>

- ・良い感じ（笑顔で聞いてくれた）に話せた。
- ・しっかりとコミュニケーションがとれた。
- ・新入生にやさしく話せて良かった。
- ・最初は堅かったけど、笑顔が見えた。



<挨拶ジャンケン>



<新聞タワー>